

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020101020100		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	献血推進事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標			みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)			地域医療の充実を図る	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦
取組み事項			救急医療体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		安全な血液製剤の安全供給の確保に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	病気や怪我の患者の治療のための血液を必要とする市民					
	誰(何)を対象として	健康な16歳から69歳までの市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県の計画献血による献血の推進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		年3回、姫路血液センターの献血車により、市内2カ所において、献血を実施。(27年度より1カ所に変更)					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	献血量	ml	68,200	74,000	62,400	55,000	

3 投入資源

		会計区分		事業費単位:円					
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.050	0.052	104	0.044	85	0.044	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.040	333	0.012	30	
支出内訳	人件費	721,972	746,346	103	796,645	107	681,846	86	
	事業費			-		-		-	
	合計	721,972	746,346	103	796,645	107	681,846	86	
	国庫支出金			-		-		-	
財源内訳	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	721,972	746,346	103	796,645	107	681,846	86	
	合計	721,972	746,346	103	796,645	107	681,846	86	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		献血者数							
指標説明(式)		200ml・400ml献血者の計							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	150	100.0	140	93.3	開催場所減
	実績	182	179	98.4	164	91.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

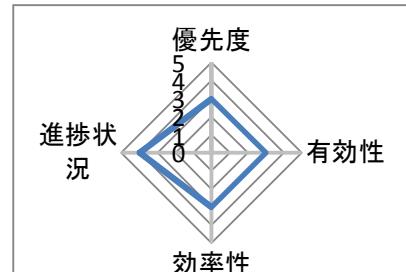
指標名1		目標献血量							
指標説明(式)		1回あたり献血量目標単位=95単位(1単位=200ml)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
単位	目標	95	95	100.0	95	100.0	90	94.7	開催場所減
	実績	113.7	123.3	108.4	104	84.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	献血者の増加	3
効率性	手段の最適性	献血車1台あたりの献血量の確保	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	献血者数、献血量は、計画どおり確保できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	年3回実施のうち、1回は屋外テント内での受付、問診、診察、待合など行っているが、気温・天候等により献血者に対し不便をかけている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	屋外の実施は献血者への不便があることから27年度において、献血場所を市役所に1本化する

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020101020200		事業の類型	2
年度	26	事務事業名	救急医療施設運営事業	予算事業名	救急医療施設運営事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		地域医療の充実を図る	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦	
取組み事項		救急医療体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		救急医療対策事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	夜間及び診療時間外での急病者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急医療施設運営により、緊急時の診療体制の確保。					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	夜間及び休日の緊急時の診療体制を確保するため、在宅当番医制(一次)・病院群輪番制(二次)により 運営。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	休日急患診療受診者	人	704	646	688	700
	病院群輪番制受診者	人	492	513	403	500
	小児科救急医療受診者	人	806	744	604	700

3 投入資源

	会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.076	211	0.068	89
	臨時職員	0.060	0.060	100	0.012	20		0
支出内訳	人件費	729,180	740,522	102	976,541	132	836,658	86
	事業費	18,925,470	18,865,470	100	18,838,500	100	18,833,000	100
	合計	19,654,650	19,605,992	100	19,815,041	101	19,669,658	99
	国庫支出金			-	-	-	-	-
財源内訳	県支出金	916,000	916,000	100	899,000	98	934,000	104
	市債			-	-	-	-	-
	その他			-	-	-	-	-
	一般財源	18,738,650	18,689,992	100	18,916,041	101	18,735,658	99
	合計	19,654,650	19,605,992	100	19,815,041	101	19,669,658	99

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ受診者数(人)							
指標説明(式)	夜間及び診療時間外時の急病等による受診者の増減							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
人	目標	2100	2000	95.2	2,000	100.0	2000	100.0
	実績	2002	1903	95.1	1695	89.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		-

【効率性】

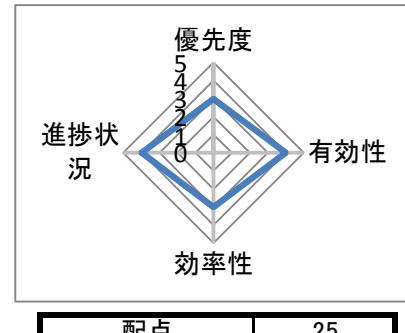
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	夜間及び休日における診療体制の確保により市民が安心して暮らせる。	4
	市民サービス	夜間及び休日における診療体制の確保により救急医療が受けられ、大事に至らず安心感が得られる。	
効率性	負担割合の適正化	相生市・赤穂市・上郡町の2市1町の人口に対する負担割合である。	3
	手段の最適性	医師会に運営委託	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	夜間及び診療時間外時における急病患者はおおむね予定した受診者数であった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急において、夜間及び休日の受入れに空白日がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急の受入れ空白日の解消のため、引き続き関係機関等に働きかけを行っていくとともに、中播磨医療圏域との連携を強化していく。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020101030100		事業の類型	3					
年度	26	事務事業名	病院管理事務事業	予算事業名			優先度	4				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	市民病院市民病院							
施策名(中)	地域医療の充実を図る			担当課長	西崎 健一	担当者名	佐原 正樹					
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無					
実施計画事業名												
根拠法規及び関連法規	公営企業法、医療法											
事業の目的	誰のために(具体的に)	病院管理等を行うすべての関係職員										
	誰(何)を対象として	病院管理等を行うすべての関係職員										
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院として健全経営を目指し、職員の定員管理をはじめ、医事管理業務並びに施設管理を適正かつ効率的・効果的に行い経営の透明性を図る。										

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正な職員定数・医事管理を行い、事務処理等の透明性を確保する。また、施設管理等の諸経費の節減や見直しを図り、持続可能な維持管理に努める。(金額は税込)					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	職員の適正配置	人	41	38	40	42	
	保守委託の精査	千円	63734	62514	63601	66585	
	時間外勤務手当削減	千円	4706	5369	4491	5500	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
支出内訳	人件費	5,370,436	5,381,330	100	5,447,533	101	5,495,614	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	5,370,436	5,381,330	100	5,447,533	101	5,495,614	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,370,436	5,381,330	100	5,447,533	101	5,495,614	101	
	合計	5,370,436	5,381,330	100	5,447,533	101	5,495,614	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	病院事業費用経費								
指標説明(式)	医業費用のうち経費部分の経費(税込)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	184653	190230	103.0	193622	101.8	187483	96.8	
	実績	159328	167244	105.0	164733	98.5			
指標名2	職員数の適正化								
指標説明(式)	看護師の配置は、10:1体制で35床を届出基準としている。								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	47	42	89.4	42	100.0	42	100.0	
	実績	41	38	92.7	40	105.3			

【効率性】

指標名1		職員給与費比率							
指標説明(式)		職員給与費 ÷ 医業収益 × 100(職員数等の適否を示す。)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	51.6	51.6	100.0	51.6	100.0	51.6	100.0	
	実績	52.1	43.4	83.3	44.8	103.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	職員の意識改革を図るため、経営状況等の情報を各科で共有し、経営参画・事務改善に努めた。	4
	関係(根拠) 法令から見た効果	適正な医事管理業務を行った。また、医療法等に関係法令を順守し、適切な諸手続きを行った。	
効率性	執行体制の効率性	臨時職員・パート職員の活用を図るとともに、看護師の業務負担軽減を図った。	4
	コストの節減	委託業務等見積もり合わせによりコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	おおむね計画通りに進捗しているが、看護師の充実など定数の見直しをさらに進める必要がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性		職員の適正配置に努め、業務の見直しを図ることで、働きやすい職場づくりを進める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性		訪問看護を充実させるため、看護体制を強化する。

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020101030200		事業の類型	4					
年度	26	事務事業名	病院運営事務事業	予算事業名			優先度	4				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	市民病院市民病院							
施策名(中)	地域医療の充実を図る			担当課長	西崎 健一	担当者名	佐原 正樹					
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無					
実施計画事業名												
根拠法規及び関連法規			公営企業法、医療法									
事業の目的	誰のために(具体的に)	周辺地域住民を含めたすべての市民										
	誰(何)を対象として	周辺地域住民を含めたすべての市民										
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院としての健全経営を確保し、効率・継続的な病院運営により、地域住民に信頼される安全・安心で質の高い医療提供を行う。										

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全・安心で良質な医療を提供するために、病院機能の充実強化、常勤医師の確保等医療提供体制の整備をはじめ、サービスアップの推進など積極的な改革を行い、経営の健全化、安定した経営基盤の確立を図る。					
活動実績		項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
活動実績	経常収支比率	%		100.2	97.6	100.8	100.0
	医業収支比率	%		87.9	90.3	91.9	92.7
	病床の有効活用	%		94.8	88.8	89.9	91.4
	一般会計繰入金	千円		101586	64000	65672	86433

3 投入資源

		会計区分		事業費単位:円					
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	1.500	1.500	100	1.500	100	1.500	100	
支出内訳	人件費	7,773,436	7,822,330	101	7,877,533	101	8,110,614	103	
	事業費			-		-		-	
	合計	7,773,436	7,822,330	101	7,877,533	101	8,110,614	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,773,436	7,822,330	101	7,877,533	101	8,110,614	103	
	合計	7,773,436	7,822,330	101	7,877,533	101	8,110,614	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	経常収支比率								
指標説明(式)	経常収益 ÷ 経常費用 × 100(税抜き)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100.2	97.6	97.4	100.8	103.3			
指標名2	医業収支比率								
指標説明(式)	医業収益 ÷ 医業費用 × 100(税抜き)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	92.7	92.7	100.0	92.7	100.0	92.7	100.0	
	実績	87.9	90.3	102.7	91.9	101.8			

【効率性】

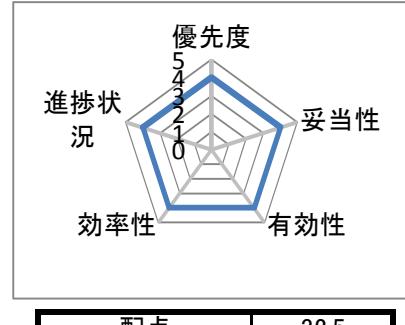
指標名1		稼働病床利用率							
指標説明(式)		入院患者数 ÷ (35床 × 365日) × 100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	91.4	91.4	100.0	91.4	100.0	91.4	100.0	
	実績	94.8	88.8	93.7	89.9	101.2			
指標名2		1日平均外来患者数							
指標説明(式)		外来患者延数 ÷ 外来診療日数 ※平成26年度は293日／年							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	71	65	91.5	65	100.0	63	96.9	
	実績	54.8	51.9	94.7	52.2	100.6			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	経常収支比率が目標を達成した。	4
	市民サービス	自治体病院は、安全・安心な医療提供を一層求められる。ヒヤリハット等の検証・防止を確実に行い、医療の安全確保に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	看護配置を適正に行い、他科との業務分担についても常に改善した。	4
	手段の最適性	業務の見直しを行うとともに、業務委託についても精査した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	入院・外来共に患者数は微増であった。 評価指標はそれぞれ目標に届かなかったものもあるが、すべて前年実績を上回っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入院・外来患者数が伸び悩んでいる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	接遇面を改善し、患者増につなげていく。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102010100		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	保健対策推進事業	予算事業名	保健対策推進事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦		
取組み事項	健康づくり意識を醸成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	地域保健法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民の健康づくり及び歯科保健の推進					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の健康づくりや歯科保健に対する総合的な把握と基本的な施策を協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		「健康づくり推進協議会」及び「歯科保健推進協議会」を開催					
項目		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
活動実績	健康づくり推進協議会	開催回数	1	1	1	1	
	歯科保健推進協議会	開催回数	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.128	0.172	134	0.096	56	0.100	104	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,314,832	1,659,022	126	1,102,341	66	1,084,914	98	
	事業費	475,000	460,000	97	470,000	102	495,000	105	
	合計	1,789,832	2,119,022	118	1,572,341	74	1,579,914	100	
	国庫支出金			-		-		-	
財源内訳	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,789,832	2,119,022	118	1,572,341	74	1,579,914	100	
	合計	1,789,832	2,119,022	118	1,572,341	74	1,579,914	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	推進協議会協議項目数							
指標説明(式)	協議項目の内容							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0
	実績	2	2	100.0	2	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		-

【効率性】

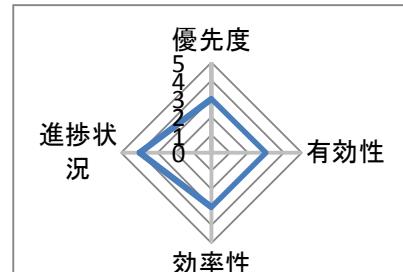
指標名1		推進協議会等開催回数							
指標説明(式)		市民の健康に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する。							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各協議会により審議された事柄を施策に反映。	3
	関係(根拠) 法令等から見た効果	市民の健康増進に寄与できている。	
効率性	手段の最適性	協議会内容充実のため、協議項目を増やし協議した。.	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	「健康づくり推進協議会」及び「歯科保健推進協議会」をそれぞれ開催し、健康づくり及び歯科保健に関する実施事業の協議を行った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	第2次健康増進計画の進行管理。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	健康増進計画の進行状況を把握し、評価・改善を行っていく。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102010200		事業の類型	4
年度	26	事務事業名	健康福祉フェア	予算事業名	健康福祉フェア	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	富田 要		
取組み事項	健康づくり意識を醸成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康と福祉に対する意識の高揚を図り、健康づくりと福祉の実践の輪を広げ市民の明るく健やかな暮らしに寄与する。					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	年1回、健康福祉に関わる団体、関連機関等の協賛によるイベント。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	健康・福祉フェア	参加人数	1757	1271	1347	1300

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.114	0.123	108	0.240	195	0.240	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.004	50	0.004	100	
支出内訳	人件費	1,206,696	1,282,359	106	2,227,773	174	2,181,494	98	
	事業費	292,760	295,150	101	290,834	99	300,000	103	
	合計	1,499,456	1,577,509	105	2,518,607	160	2,481,494	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,499,456	1,577,509	105	2,518,607	160	2,481,494	99	
	合計	1,499,456	1,577,509	105	2,518,607	160	2,481,494	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	健康・福祉フェア							
指標説明(式)	参加人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
人	目標	1600	1700	106.3	1300	76.5	1300	100.0
	実績	1757	1271	72.3	1347	106.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		-

【効率性】

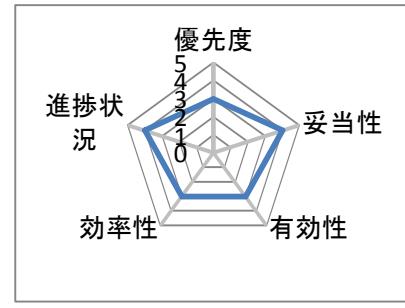
指標名1		参加者一人あたり費用							
指標説明(式)		事業費÷参加人員							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標		832	-	1138	136.8		0.0	
	実績	853	1241	145.5	1869	150.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	健康チェック等を通じて、市民の健康に対する意識の高揚が図れた。	3
	市民サービス	「あいあいのつどい」と同時開催することにより、幅広い層の市民が参加し、個々のコーナーで好評であった。	
効率性	コストの節減	実施内容を限定し、縮小化を図り経費の縮減につながった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	例年、12月の障害の日にあわせ、「あいあいのつどい」と同時開催しているが、バザー出店品の関係から開催時間を変更して開催した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	昼食を含む開催時間の検討



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	25年度より開催時間を午後1時までとし短縮して実施しているが、引き続きこの時間帯での実施でいいか実施状況を見ながら検討していく。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102010300		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	健康づくり推進事業	予算事業名	健康づくり推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦	
取組み事項		健康づくり意識を醸成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域保健法、老人保健法、健康増進法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する39歳以下の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する39歳以下の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	基本健康診査	人	119	113	95	110
	がん検診	人	185	147	128	150

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.324	0.392	121	0.172	44	0.180	105	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0	0.008	-	
支出内訳	人件費	2,828,736	3,350,162	118	1,691,189	50	1,726,474	102	
	事業費	2,118,946	2,038,063	96	2,044,264	100	3,715,000	182	
	合計	4,947,682	5,388,225	109	3,735,453	69	5,441,474	146	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	236,500	509,800	216	479,800	94	720,000	150	
	一般財源	4,711,182	4,878,425	104	3,255,653	67	4,721,474	145	
	合計	4,947,682	5,388,225	109	3,735,453	69	5,441,474	146	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	がん検診受診者数							
指標説明(式)	39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
人	目標	290	215	74.1	200	93.0	200	100.0
	実績	185	147	79.5	128	87.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		

【効率性】

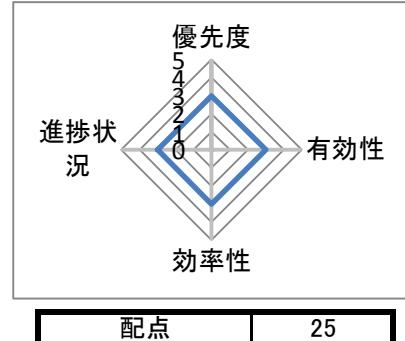
指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数としては前年度から減となっているが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている	3
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、健診回数や受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である	3
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	若年者に向けてPRできる機会、場所に限りがある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	若年者へ検診の周知を図る 基本健康診査受診者へ同時にがん検診の受診を勧める

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102010400		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	後期高齢者健康増進事業	予算事業名	後期高齢者健康増進事業	優先度	4
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦		
取組み事項	健康づくり意識を醸成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	基本健康診査	人	678	764	804	850	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.284	0.228	80	0.372	163	0.220	59	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	2,510,164	2,079,730	83	3,240,789	156	2,015,874	62	
	事業費	2,601,176	3,625,271	139	3,925,239	108	4,300,000	110	
	合計	5,111,340	5,705,001	112	7,166,028	126	6,315,874	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,076,083	3,610,348	117	4,063,163	113	4,090,000	101	
	一般財源	2,035,257	2,094,653	103	3,102,865	148	2,225,874	72	
	合計	5,111,340	5,705,001	112	7,166,028	126	6,315,874	88	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	700	100.0	800	114.3	850	106.3	
	実績	678	764	112.7	804	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

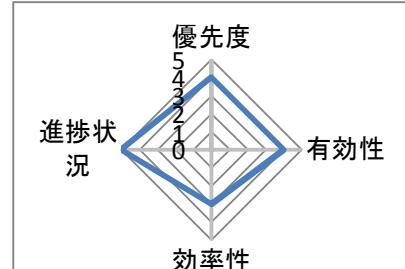
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	がん検診などとセット検診による魅力ある健診メニューの充実と受診時間の予約制による待ち時間の解消により受診者数が増加した。	4
	関係(根拠) 法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	延べ13日間にわたり、公民館、小学校体育館など身近な場所で受診できる集団健診の実施により、受診機会を確保することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画受診者数を越える受診者数があった。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	身近で受診しやすい環境づくり。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	検査項目の充実等による魅力ある健診づくり。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102020100		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	健康増進事業	予算事業名	健康増進事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	石原 由佳		
取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	健康増進法						
事業の目的	誰のために(具体的に) 誰(何)を対象として 意図(どのような状態にしたいのか)	40歳以上の市民 40歳以上の市民 健康意識の向上、健康寿命の延伸及び介護予防					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康診査(がん検診、歯周疾患健診、骨粗鬆症検診)、健康教育(集団健康教育)、健康相談(重点健康相談、総合健康相談)					
項目		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
健康診査		人	8632	8440	8833		
健康相談		人	1805	1191	1333		
集団健康教育		人	463	612	426		
がん検診受診率		%	18	17.9	18.3		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	1.056	1.140	108	0.852	75	0.788	92	
	臨時職員	0.016	0.016	100	0.072	450		0	
支出内訳	人件費	8,501,928	9,119,566	107	7,134,789	78	6,422,418	90	
	事業費	24,808,900	27,674,446	112	26,657,000	96	31,188,000	117	
	合計	33,310,828	36,794,012	110	33,791,789	92	37,610,418	111	
財源内訳	国庫支出金	1,599,000	1,240,000	78	1,167,000	94	1,353,000	116	
	県支出金	2,114,000	2,225,000	105	2,017,000	91	2,129,000	106	
	市債	0	-	-	-	-	-	-	
	その他	4,896,700	4,306,100	88	4,249,400	99	5,160,000	121	
	一般財源	24,701,128	29,022,912	117	26,358,389	91	28,968,418	110	
	合計	33,310,828	36,794,012	110	33,791,789	92	37,610,418	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子宮がん検診・乳がん検診							
指標説明(式)		受診率							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	16.2	16.4	101.2	17.1	104.3			
指標名2		大腸がん検診							
指標説明(式)		受診率							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	20.3	20.6	101.5	20.8	101.0			

【効率性】

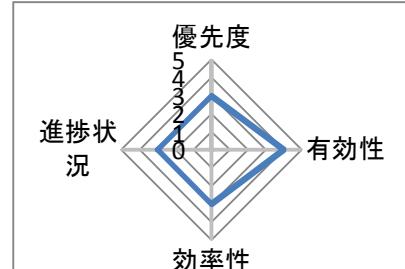
指標名1		子宮頸がん							
指標説明(式)		受診医療機関数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	30	1000.0	34	113.3	34	100.0	
	実績	3	30	1000.0	34	113.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	子宮がん検診の受診医療機関拡大の影響か受診率がやや増加傾向となった	4
	関係(根拠) 法令から見た効果	健康増進法等に合致する内容で、柔軟に対応ができる	
効率性	手段の最適性	子宮がん検診については、赤穂郡医師会、たつの市・太子町医師会と新たに事業実施委託契約を締結し、受診医療機関の充実を図ることができた	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受診医療機関が増設され、さらに受診しやすい環境が整いつつある。がん対策推進員の協力のもと地域に密着したPR活動が行われている	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	受診率は徐々に増加傾向ではあるが、勤務者、育児者等が受診しやすい環境を整える必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	子宮がん検診においては、子宮がん月間を期に日曜診療を実施。大腸がん検診は、クーポン券発送時期を生活習慣病健康診査申込時期に調整し、受診率向上に努める。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102020200		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	健康づくり推進事業	予算事業名	健康づくり推進事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦		
取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	地域保健法、老人保健法、健康増進法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する39歳以下の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する39歳以下の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)					
項目		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
活動実績	基本健康診査	人	119	113	95	110	
	がん検診	人	185	147	128	150	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.324	0.392	121	0.172	44	0.180	105
	臨時職員	0.008	0.008	100		0	0.008	-
支出内訳	人件費	2,828,736	3,350,162	118	1,691,189	50	1,726,474	102
	事業費	2,118,946	2,038,063	96	2,044,264	100	3,715,000	182
	合計	4,947,682	5,388,225	109	3,735,453	69	5,441,474	146
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	236,500	509,800	216	479,800	94	720,000	150
	一般財源	4,711,182	4,878,425	104	3,255,653	67	4,721,474	145
	合計	4,947,682	5,388,225	109	3,735,453	69	5,441,474	146

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	がん検診受診者数							
指標説明(式)	39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
人	目標	290	215	74.1	200	93.0	200	100.0
	実績	185	147	79.5	128	87.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		

【効率性】

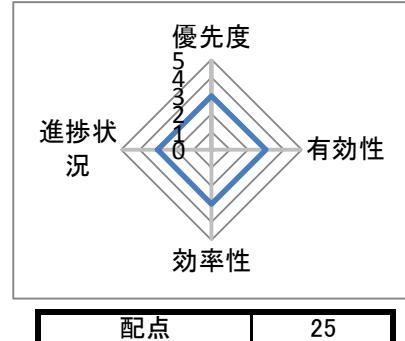
指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数としては前年度から減となっているが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている	3
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、健診回数や受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である	3
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	若年者に向けてPRできる機会、場所に限りがある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	若年者へ検診の周知を図る 基本健康診査受診者へ同時にがん検診の受診を勧める

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102020300		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	後期高齢者健康増進事業	予算事業名	後期高齢者健康増進事業	優先度	4
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦		
取組み事項	病気などの早期発見と早期治療を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	基本健康診査	人	678	764	804	850

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.284	0.228	80	0.372	163	0.220	59	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	2,510,164	2,079,730	83	3,240,789	156	2,015,874	62	
	事業費	2,601,176	3,625,271	139	3,925,239	108	4,300,000	110	
	合計	5,111,340	5,705,001	112	7,166,028	126	6,315,874	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,076,083	3,610,348	117	4,063,163	113	4,090,000	101	
	一般財源	2,035,257	2,094,653	103	3,102,865	148	2,225,874	72	
	合計	5,111,340	5,705,001	112	7,166,028	126	6,315,874	88	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	700	100.0	800	114.3	850	106.3	
	実績	678	764	112.7	804	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

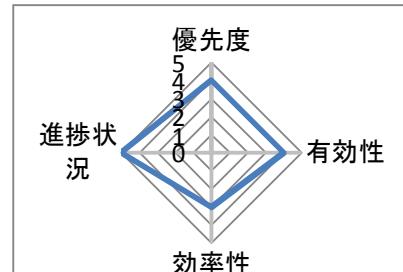
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	がん検診などとセット検診による魅力ある健診メニューの充実と受診時間の予約制による待ち時間の解消により受診者数が増加した。	4
	関係(根拠) 法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	延べ13日間にわたり、公民館、小学校体育館など身近な場所で受診できる集団健診の実施により、受診機会を確保することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画受診者数を越える受診者数があった。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	身近で受診しやすい環境づくり。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	検査項目の充実等による魅力ある健診づくり。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102030100		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	予防接種事業	予算事業名	予防接種事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	石野 絵梨佳		
取組み事項	感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名	子宮頸がんワクチン接種助成事業 肺炎球菌ワクチン接種助成事業	小児肺炎球菌ワクチン接種助成事業 ヒブワクチン接種助成事業					
根拠法規及び関連法規	予防接種法・結核予防法						
事業の目的	誰のために(具体的に) 誰(何)を対象として 意図(どのような状態にしたいのか)	市民全体(免疫水準の維持) 接種対象者 予防接種を受け、健康を維持することができる。市民全体の免疫水準を維持することができる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		定期予防接種A類(風しん・麻しん・日本脳炎・4種混合・3種混合・2種混合・不活化ポリオ、BCG、小児肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん予防、水痘)、定期予防接種B類(インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌)を実施する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	定期予防接種一類	%	60.5	65.8	67.9	100
	定期予防接種一類	%	72.8	74.1	88.7	100
	定期予防接種二類	%	47	47.6	49.9	60

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.636	0.576	91	0.388	67	0.568	146	
	臨時職員	0.276	0.276	100	0.352	128	0.080	23	
支出内訳	人件費	5,882,628	5,418,758	92	4,220,117	78	4,924,858	117	
	事業費	67,422,905	58,015,854	86	61,426,024	106	80,211,000	131	
	合計	73,305,533	63,434,612	87	65,646,141	103	85,135,858	130	
	国庫支出金			-		-		-	
財源内訳	県支出金	11,810,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	61,495,533	63,434,612	103	65,646,141	103	85,135,858	130	
	合計	73,305,533	63,434,612	87	65,646,141	103	85,135,858	130	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		予防接種接種率(日脳あり)							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数 ÷ 各予防接種接種対象者数) × 100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	60.5	65.8	108.8	67.9	103.2			
指標名2		予防接種接種率(日脳なし)							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数 ÷ 各予防接種接種対象者数) × 100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	72.8	74.1	101.8	88.7	119.7			

【効率性】

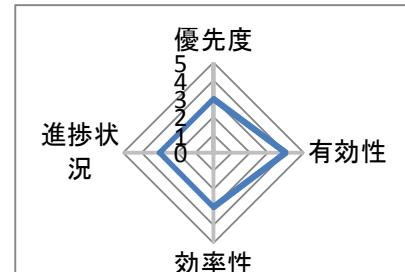
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	改正に合わせて、迅速な対応ができ、予防接種法等に合致する内容で実施できている	4
	成果目標(改善)達成度	前年度に比べ、全体的に接種率向上につなげることができた	
効率性	執行体制の効率性	全て個別接種で通年実施となっており、接種しやすい環境が整っている。また、引き続き個別用タックシール使用により、接種回数の見落としや誤りを防ぐことができている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成26年度に新ワクチンの導入や改正等があり、接種率低下を懸念していたが、平年並みを維持することができた	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	未接種者に対して十分な周知ができない



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	定期健診を利用し、接種状況を把握し未接種者に対して付箋を利用して、保護者への周知を徹底する

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102030200		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	感染症予防事業	予算事業名	感染症予防事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	桂 安邦		
取組み事項	感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	感染症発生の疑いのある者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	感染症発生及びそのまん延の防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図る。					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	感染症予防に関する広報、ポスター等の掲示による啓発を実施した。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	消毒剤の購入量	袋	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.028	0.020	71	0.028	140	0.072	257	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	523,208	471,070	90	575,477	122	867,690	151	
	事業費	0	0	-	0	-	88,000	-	
	合計	523,208	471,070	90	575,477	122	955,690	166	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	523,208	471,070	90	575,477	122	955,690	166	
	合計	523,208	471,070	90	575,477	122	955,690	166	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

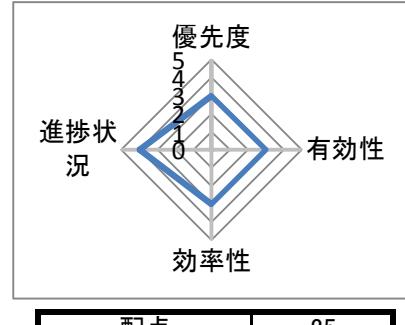
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	感染症の発生及びまん延を防止し、市民の健康を守る。	3
	関係(根拠) 法令等から見た効果	感染症の発生及びまん延を防止する。	
効率性	コストの節減	感染症が発生しない限りコストも生じない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本事業の目的は、感染症の発生及びまん延の防止であることであるが、平成26年度では発生していない。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	情報収集及び市民への啓発活動の推進



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	情報収集及び市民への啓発活動の推進

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102030300		事業の類型	5
年度	26	事務事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業	予算事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	宇久 勝志	担当者名	三谷 真美		
取組み事項	感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市公衆浴場整備改善資金利子補給補助金公布要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公衆浴場経営者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	公衆衛生の維持のために、市内唯一の公衆浴場の安定経営の維持					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	公衆浴場の数				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	施設数	件	1	1	1	1
	※都湯:相生地区					

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	461,416	471,070	102	513,493	109	464,274	90	
	事業費	7,619	5,317	70	3,036	57	1,000	33	
	合計	469,035	476,387	102	516,529	108	465,274	90	
	国庫支出金			-		-		-	
財源内訳	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	469,035	476,387	102	516,529	108	465,274	90	
	合計	469,035	476,387	102	516,529	108	465,274	90	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	利子補給対象借入件数								
指標説明(式)	H22年度まで 年間利子相当額の1/2づつを県市補助負担 H23年度から 利率1%超4%以内の利子額に対し県市1/2づつ補助								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

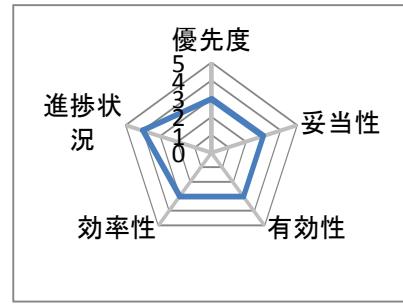
指標名1		県補助金							
指標説明(式)		利子補助額×1/2							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆浴場がある相生地区においては、高齢者世帯を中心に風呂が少ない百家や古い家屋が多くあり、今日、利用者は減少傾向にあるが、需要がある限り、公衆衛生面から考えれば、公衆浴場存続の必要があり、事業として有効である。	3
効率性	手段の最適性	本制度は、利用者も少なく、投資効果がない中での公衆浴場の改修を促すものであり、利用者の利便向上及び、事業者の経営安定のため、設備資金の借入に対する利子補給事業は最適な手段である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	事業として利用者が減ってきており、市民が高齢化し、風呂の無い家もあることから、継続する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102030400		事業の類型	4
年度	26	事務事業名	衛生害虫駆除事業	予算事業名	衛生害虫駆除事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	宇久 勝志	担当者名	三谷 真美		
取組み事項	感染症のまんえんを予防する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	地域					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常及び水害時等において、不快害虫を駆除・防除し、快適な生活環境を維持する。					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	地区清掃等に係る自治会への害虫駆除薬剤配布（SV乳剤）				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	薬剤配布(自治会数)	件	13	11	6	10

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100	0.016	67
	臨時職員	0.000		-		-		-
支出内訳	人件費	492,312	501,818	102	544,485	109	433,242	80
	事業費		0	-	9,240	-	100,000	1,082
	合計	492,312	501,818	102	553,725	110	533,242	96
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	492,312	501,818	102	553,725	110	533,242	96
	合計	492,312	501,818	102	553,725	110	533,242	96

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	薬剤配布							
指標説明(式)	各自治会への配布本数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
本	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0
	実績	22	23	104.5	15	65.2		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		-

【効率性】

指標名1		薬剤購入							
指標説明(式)		薬剤購入費							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	73,500	0	0.0	100000	-	100,000	100.0	
	実績	73500	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆衛生確保の観点から市民サービスの貢献に努めた。	4
効率性	執行体制の効率性	市は薬剤費の支出を受け持つが、薬剤散布にあたっては、地元自治会が自主的に実施するため、役務面でのコスト削減につながっている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	美化活動の奨励によりコストの削減につながる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	環境意識を向上させることで、自ら管理責任を認識させることによりコスト削減につながる。

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	020102040100		事業の類型	1
年度	26	事務事業名	食育推進事業	予算事業名	食育推進事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する	担当課長	友上 啓子	担当者名	三木 由紀		
取組み事項	食育を推進する	実施計画への記載		主要事業の指定			
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	食育基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	相生市食育推進計画を策定し、それにそって、地域、関係団体、保育所、幼稚園、学校、生産者、行政などが連携して食育活動を進める。				
活動実績		項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績
		食育推進協議会	開催回数	2	1	3
						1

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.240	0.252	105	0.287	114	0.220	77	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	2,170,308	2,264,218	104	2,582,209	114	2,015,874	78	
	事業費	109,400	93,270	85	1,240,321	1,330	114,000	9	
	合計	2,279,708	2,357,488	103	3,822,530	162	2,129,874	56	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,279,708	2,357,488	103	3,822,530	162	2,129,874	56	
	合計	2,279,708	2,357,488	103	3,822,530	162	2,129,874	56	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生市食育推進計画の具体的な取組の進歩状況							
指標説明(式)	取組を行っている数 ÷ 取組むべき具体的な取組数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2	相生市食育推進計画の指標と目標値							
指標説明(式)	達成状況(目標達成数 + 目標に近づいているが未達成) ÷ 指標数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比
%	目標			-	80	-		0.0
	実績			-	53	-		5年毎評価

【効率性】

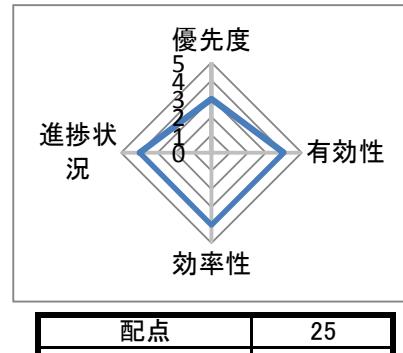
指標名1		相生市食育推進協議会開催回数							
指標説明(式)		市民の食育に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する							
指標単位 回	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	1	50.0	3	300.0	1	33.3	
	実績	2	1	50.0	3	300.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標								
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市食育推進計画の中の具体的取組に重点をおき、各担当及び関係者と連携をしながら推進できている。また、年度ごとに取組目標を決め、評価をおこない、次年度につなげている。	4
	成果目標(改善)達成度	アンケート結果より計画(1次)の指標と目標値の評価を実施。目標値達成と目標値に近づいているが未達成の割合が、約50%となった。	
効率性	手段の最適性	既存の事業に食育を盛り込み実施すると共に、新事業、他部署、他団体と連携をした事業も行っている。また、相生市食育推進計画の評価を行い、第2次計画を策定。第2次計画にそって更に食育を推進していく。	4
	執行体制の効率性	食育推進協議会、府内連絡調整会議、作業部会と食育の推進体制に沿って食育を推進することで、漏れなく活動を行うなど、効果的な体制、方法で事業を推進している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	活動の評価として、アンケート結果でみると、指標の目標値達成につながっていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	相生市食育推進計画(第2次)の課題でもある、若い世代と男性への食育活動を重点的に行う